

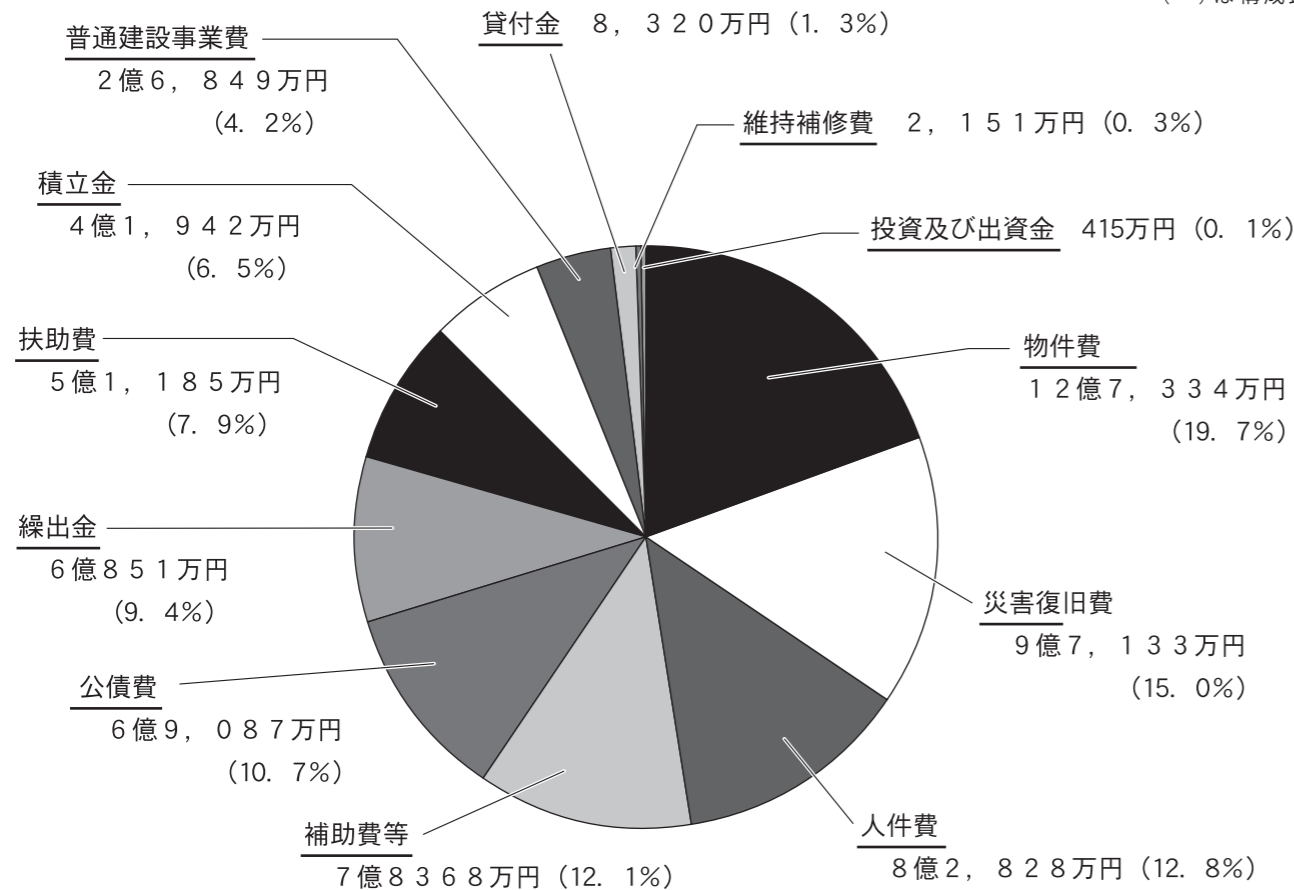
平成23年度の各会計決算認定については、9月4日の本会議において、決算審査特別委員会（長田守弘委員長外9名）が設置され、町長から提出された決算に係る関係書類に基づき、3日間の審査を行いました。

各会計決算の主な内訳や町債残高の状況、主要な財政指数及び財政健全化判断比率の報告を受け、各課各事業の内容等の説明の後、質疑回答方式により審議いたしました。

9月12日に、特別委員会の最終審査の中で採決を行い、その結果を9月14日の本会議において、「全会計において承認すべきとの」委員長報告があり、決算書のとおり認定することといたしました。

一般会計決算 64億6,459万円の内訳

()は構成比



町債残高の推移

(単位：万円)

	平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	増減		増減		増減	
普通会計	549,632	△23,763	533,289	△16,343	509,403	△23,886
特別会計	427,909	△5,532	421,520	△6,389	415,959	△5,561
合計	977,541	△29,295	954,809	△22,732	925,362	△29,447

9月定例会

23年度各会計決算を認定

平成24年9月（第5回）定例会は、9月4日から9月14日までの11日間にわたって開かれました。

平成23年度の一般会計及び各特別会計決算認定については、決算審査特別委員会が設置され3日間の審議を経て、全会計を全会一致で決算書のとおり認定しました。

また、復興産業集積区域における固定産税の課税免除に関する条例の制定、監査委員の選任同意、教育委員の任命同意、平成24年度補正予算9件等の全19議案が上程され、いずれも原案のとおり可決承認されました。一般質問には6名の議員が登壇し、町政について問いました。



町制50周年記念式典から

決算総額 105億1千万円 5億7百万円の黒字決算

平成23年度の上水道会計を除く全会計の総決算では、10,515,762千円（前年対比73%増）の歳入に対して、9,771,053千円（前年対比76%増）の歳出となり、実質収支で507,865千円（前年対比38%増）の剰余金を生じ、次年度繰越を行うこととなった。

(単位：千円)

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	形式収支	実質収支
一般会計	7,038,507	6,464,593	573,914	339,952
国民健康保険特別会計	1,526,514	1,401,967	124,547	124,547
後期高齢者医療特別会計	76,099	75,876	223	223
介護保険特別会計	731,254	697,541	33,713	33,713
土地取得事業特別会計	3,715	3,715	0	0
工業団地事業特別会計	165,872	163,547	2,325	2,325
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	84,761	83,796	965	2
育英資金貸付費特別会計	13,555	12,207	1,348	1,348
公共下水道事業特別会計	799,586	792,815	6,771	4,852
農業集落排水事業特別会計	75,899	74,996	903	903
小計	10,515,762	9,771,053	744,709	507,865
上水道事業会計	290,135	233,897		56,238

* 実質収支とは、歳入歳出差引額（形式収支）から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した決算額です。